

科目名				授業の種類		授業担当者	
子ども家庭支援論				講義		栗原博士	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
2	2	30	15	後期	幼免：選択	保育士：必修	
〔授業の目的・ねらい〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者として必要な、教育、保育における家庭支援の知識を習得する。</li> <li>・保育者、支援者に求められるコミュニケーションスキルを身に付ける。</li> <li>・ロールプレイを通して、教育、保育における家庭支援の実践力を養う。</li> </ul>							
〔授業全体の内容と概要〕							
<p>・子どもの保育だけに対する対応だけではなく、保護者の子育ての悩みなどの相談にも対応が迫られるが増えてきた。そのため、教育、保育における家庭支援について、その基本となる理論と方法および心構えを学ぶ。また、乳幼児への支援を必要とする家庭を理解するために必要なスキルを学ぶ。</p>							
〔受講上の注意事項〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、事例検討やロールプレイを行うため、積極的に取り組むこと。</li> <li>・グループごとにPC (Word、Excelなど)を使い、意見をまとめたり、発表したりする。</li> </ul>							
〔使用テキスト〕				〔評価基準〕			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度、プリントを配布します。</li> <li>・『保育士・幼稚園教諭のための保護者支援 保育ソーシャルワークで学ぶ相談支援』(風鳴舎)</li> </ul>				試験(20%)、授業に臨む姿勢や発表・グループワーク(80%)			
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション			授業の進め方など			
2	保護者支援とは何か			保護者と家庭を支える			
3	保育者のソーシャルワーク①			保育におけるソーシャルワークとは			
4	保育者のソーシャルワーク②			保育におけるソーシャルワークとは			
5	保護者との適切な関わり①			保護者と信頼関係を築く			
6	保護者との適切な関わり②			保護者と信頼関係を築く			
7	保護者の心に寄り添う①			保護者の想いや感情に目を向ける			
8	保護者の心に寄り添う②			保護者の想いや感情に目を向ける			
9	保育者に必要なコミュニケーションスキル①			カウンセリング・マインドについて			
10	保育者に必要なコミュニケーションスキル②			コミュニケーションスキル(言語)			
11	保育者に必要なコミュニケーションスキル③			コミュニケーションスキル(非言語)			
12	保育者に必要なコミュニケーションスキル④			保護者相談の時に使えるカウンセリング技法の体験			
13	連絡帳を支援に活かす			連絡帳を活用して子ども理解を保護者と共有する			
14	特別な支援が必要な子どもの保護者支援			子どもや保護者のニーズを把握し、支援の在り方を考える			
15	まとめと試験						

実務教員としての経歴	
実務経験と授業の関連	